

## 令和2年度第6回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和3年1月28日(木) 午前10時00分～11時55分

2 開催場所 浜松市役所 32会議室

### 3 出席状況

| エリア連絡会名     | 所属                | 出席者氏名      |
|-------------|-------------------|------------|
| 中エリア連絡会     | 中区社会福祉課           | 飯塚 康敬      |
| 東エリア連絡会     | 東障がい者相談支援センター     | 玉木 祐次郎     |
|             | 東区社会福祉課           | 久野 加津夫     |
| 西・南エリア連絡会   | 西・南障がい者相談支援センター   | 後藤 翔一朗     |
|             | 西区社会福祉課           | 安間 俊弘      |
|             | 南区社会福祉課           | 内藤 淳       |
| 北エリア連絡会     | 北障がい者相談支援センター     | 本宮 早奈映     |
| 浜北・天竜エリア連絡会 | 浜北・天竜障がい者相談支援センター | 今田 将晴      |
|             | 浜北区社会福祉課          | 島田 佐栄実     |
|             | 天竜区社会福祉課          | 内山 敦子      |
|             | 相談支援事業所シグナル       | 尾関 ゆかり     |
| 事務局         | 障がい者基幹相談支援センター    | 雨宮 寛       |
|             |                   | 山下 由佳      |
|             |                   | 松井 亮       |
|             |                   | 岸 直樹       |
|             |                   | 永田 貴裕      |
|             | 障害保健福祉課           | 生活支援第2グループ |
|             |                   | 山内 愛美      |

### 4 議事内容

・協議会活動の振り返り

※エリア連絡会運営における課題等

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活支援第2グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 無

## 7 会議記録

### (1) エリア連絡会運営における課題等

#### <中エリア>

- ・全体会と部会の構成員を分けたことにより、他の部会活動について情報共有する場が乏しかった。
- ・地域課題検討部会は、他部会の構成員にも参加してもらい事例検討を実施したことで部会同士の連動につながった。

#### <東エリア>

- ・活動内容の情報発信に課題がある。（前年度構成員より今年度の活動内容について問い合わせあり。）
- ・当事者との意見交換の場を持ったが、同じ場で3障害の意見を聞くことは難しかった。今後の意見交換の場の持ち方については相談中。
- ・3月2日に研修会を開催予定。地区社協（東区社協）からタイアップ依頼があり、共同開催の予定。（地区社協として民生員等に対して研修会を開催しなくてはならない背景がある。）

#### <西・南エリア>

- ・情報発信としてメーリングリスト整備中。
- ・市協議会との連携を考え、市協議会の活動をエリア連絡会の活動に落とし込んでいる。
- ・西区と南区が一緒になったことにより、昨年度までの構成員より活動が停滞しているとの意見がある。

#### <北エリア>

- ・全体会構成員には各部会に入ってもらい、活動の共有をすることを優先している。
- ・来年度は部会同士の連動ができればと考えている。
- ・エリアとして課題をあげていくことはまだ難しい。今は個別ケースの対応を大切にして活動をしている。
- ・区社会福祉課は業務が忙しく会議に出席できないことが多いが、情報共有はしている。

#### <浜北・天竜エリア>

- ・事務局会議をすることで、活動の振り返りができている。
- ・今年度は体制作りに終始してしまい、内容を深めることは難しかった。
- ・Web環境が整っていない構成員も多く、エリア連絡会の活動は便りを作って情報発信している。
- ・エリア連絡会構成員の会議参加の目的意識達成についても考えていく必要がある。

#### <相談支援事業所シグナルより>

- ・今年度はコロナ禍でWeb環境を利用した活動が多くあった。対面開催の良さもあるが、移動時間削減等のメリットもあるため、新型コロナウイルスの感染が落ち着いた後もWeb環境を活用していけると良い。

<その他>

- ・「市へ課題をあげよう」という目標ができ、それに向けて活動ができたことは良かった。しかし課題をあげていくには、長い期間が必要。
- ・エリア連絡会の活動を考えるうえで、市協議会との連動を考えていく必要がある。
- ・市協議会は課題解決型でスピード感を持って対応しているが、エリア連絡会がそれについていけないと感じる。
- ・市協議会、エリア連絡会それぞれの情報発信に課題がある。
- ・市全体会においてエリア連絡会の活動について協議する時間が必要。
- ・企画会議は、専門部会やエリア連絡会の報告をする場となってしまっているため、協議ができる場となると良い。
- ・他協議会との連携について報告だけで連動がない。課題を地域に広げていくため本協議会を活用してもらえるようにしていくべき。
- ・本協議会の位置づけ（障がい者施策の核となる場）を示していけると良い。
- ・市全体会へ各区社会福祉課長に参加してもらっているが、エリア連絡会としての効果はどの程度あるのか。
- ・障害保健福祉課長、各 G 長にも企画会議参加してもらい、協議会の活動を意識してもらえると良いのではないかと。

(2) その他

次回企画会議開催日時：3月4日（木）午前10時00分～

会場：浜松市役所32会議室